

「鹿児島黒牛」を支える種雄牛の造成

各種検定及びDNA解析等の実施により、「金華勝」号、「秀春幸」号、「華姫博」号を造成

背景・目的

- ・本県肉用牛の産肉能力の向上，銘柄確立及び肉用牛経営の安定が必要
- ・各種検定及び遺伝子(DNA)解析等の実施により，遺伝能力の優れた種雄牛を造成・選抜

成果の内容

・遺伝的能力に優れ，産子の枝肉成績も良好

「金華勝」号



【血統】金吉幸－華春福－勝忠平
 【間接後代検定成績】
 ・枝肉重量 506.5kg
 ・ロース芯面積 69cm²
 ・脂肪交雑 BMS No.9.3(県歴代1位)
 【交配対象】但馬系母体，気高系母体

「秀春幸」号



【血統】秀幸福－華春福－金幸
 【間接後代検定成績】
 ・枝肉重量 512.3kg
 ・ロース芯面積 81cm²(県歴代1位)
 ・脂肪交雑 BMS No.8.1
 【交配対象】但馬系母体，気高系母体

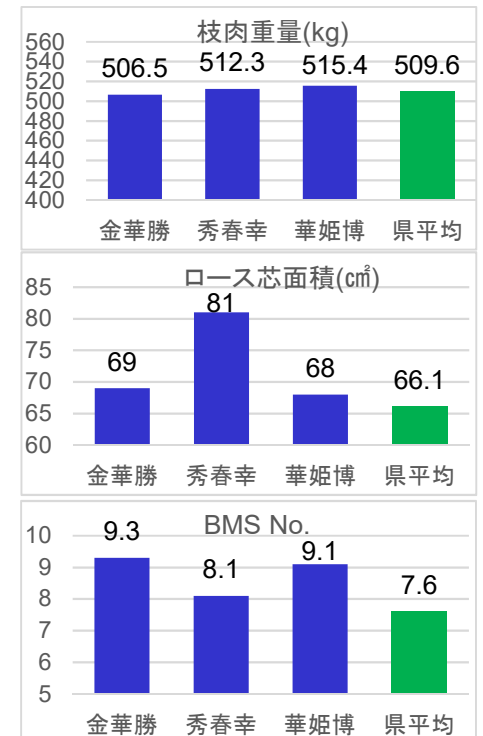
「華姫博」号



【血統】華春福－百合茂－金幸
 【間接後代検定成績】
 ・枝肉重量 515.4kg
 ・ロース芯面積 68cm²
 ・脂肪交雑 BMS No.9.1(県歴代2位)
 【交配対象】気高系母体，但馬系母体

期待される効果

本県肉用牛の肉質向上



※県平均は日本食肉格付協会格付数値，R2年度

○普及対象・範囲 県内肉用牛飼養者

肉用牛改良研究所 育種改良研究室 (R03)